

平成9年6月

あすなろ

発行所
近江八幡商工会議所婦人会
住所 近江八幡市桜宮町231-2
TEL 0748-33-4141

第 6 号

発行責任者 村井照子
会 長
編集責任者 井上和子
広報委員長





日々是好日

村井 照子

つれづれなるまゝに、なんて兼好法師を気取って書き出して見たものの、筆の運びままならず、今日は思いつくまま、目にとまった事、耳にした事を書き綴って見ようと思っっています。

この文章が、『あすなる』に載る時分には、少しづれている事もあるかと思いますが、昨今の時勢の移り変わりの早さからくる「づれ」と御許容下さい。
”悪夢か福音かクローン羊の衝撃。”

創られた優秀な人々が、オウムの人々の様に犯罪に手を染めた時の恐ろしさを想像するだけでも鳥肌の立つ思いがします。

私達人類を創造して下さった神様を冒瀆する様な恐ろしさを禁じ得ません。

科学進歩も医療の進歩も素晴らしいだけに、一歩道を誤った時は本当にコワイ……。

先日、オーバーホールのお機会が出来、約十日程静養、その時久しぶりに桂米朝さんの落語のテープを聞きました。話の中で、落語によく出て来る「花札」について米朝さん曰く「世界中遊びカードは数ある中で、これ程優雅なカードは他にはない。四季折々、梅に鶯、紅葉には鹿、菊の花には流水に盃を添え、これ以上風雅はない。それに引き換え、西洋のカードはコワイ髭をはやしたオッサンが、釘を持っている。やはり日本はよろしいなあー。さすが人間国宝の話芸。快い笑いの中に引き込まれながら、花札一つにも日本のよさ、風光明媚・花鳥風月の素晴らしさ。この国に生まれ、暮らせる事を感謝すると同時に「クローン羊」の様な道を誤れば、行く手に恐ろしいおぞましい事の起こりそうな進歩はいらぬ。天災なら仕方ないとしても、人災による破壊は神様も決してお許しにならないだろうと思うのは私一人だろうか。でき得れば日々是好日で過ごしたいと念じている昨今です。

テレビ・新聞に一せいに取り上げられたこの事実。遺伝子の組み換えで起こり得る、否、起こし得る事とか、生命の複写とか、むつかしい原理のもとで行われる事だけに、わたしには何の事か全然判らないのですが、漠然と素晴らしいようにも思えるし、恐ろしいようにも思えます。

テレビの画面にそっくり同じ顔をしたお猿さんの親子の映像が写っていました。

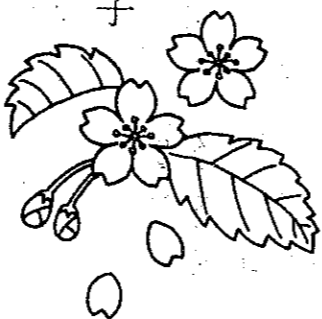
これは、わたしの漫画的発想からですが、この研究がドンドン進んで来ると、わたしの様なブスでノータリンの女性はいなくなり、全部が素晴らしい美人で男性も光源氏の様な美男子でノーベル賞でも受賞できる様な頭脳の持ち主ばかり、即ち社会全体に容姿端麗・頭脳明晰の男女ばかりとなるとどうなる事か……。

やはりブスがいて、ノータリンがいて初めて美人・秀才の素晴らしさが分かり、人々は少しでも優秀に、少しでも美しくなりたい思い、そこに謙虚、努力、進歩が生まれてくるのではと思います。

あの忌まわしいオウム事件に係わった人達の経歴を知って、こんな優秀な人達が何故と驚いた事を思い起こしました。あの教団のトップクラスの人が入信・出家する時の言葉が「カモメのジョナさんの心境」と言った由、あの恐ろしい殺人兵器(薬品)を造った頭脳の持ち主が空中遊泳の夢を信 人信された事を思う時、昔の人の言われた天才と狂人は紙一重の言が今更の様に思われます。

春

富江 田鶴子



一雨ごとに暖かさが増し、テレビや新聞紙上に花の便りが見られるようになりました。

畑に出てみると、菜の花や雪柳の花が満開、スイセンの花の香りに包まれながら、野生のウグイス君今年もホーホケキョとよい声を聞かせてくれるかしらと、空を眺めております。

季節の変わり目の中でも、春はいろんなものの芽が吹き、生きる力を感じさせてくれますので、私は好きです。市内を車で走っておりますと、観光客の方がガイドブック片手に散策しておられるのをよく見かけます。

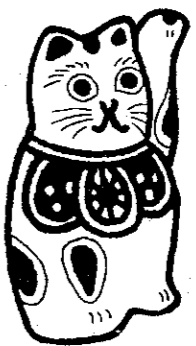
村雲瑞龍寺や白雲館、自然に恵まれた水郷、歴史を感じる商家のたたずまい、すばらしい観光コースが出来たお陰です。

JR西日本が『あなたが選ぶもう一度行って見たい関西の街ベスト10』で、一位(兵庫県)六甲山、近江八幡は十位と新聞に載っております。

祖先より受け継いだ遺産を守り、環境のよい街づくりに私も何かお手伝いが出来ればと思っております。

好きな言葉「三方よし」

随井 佳子



近江商人は、「諸国産物廻しの特色を生かした商法で、いわゆる近江や上方の生産物を仕入れ、地方の店へ送るという需要と価格の地域差に目をつけ、利益機会を最大限に生かしたものである」と書物にあります。

しかし、投機的な行為や価格を吊り上げる商い、また権力と結託して巨利を図ることを厳しく禁じて出先の商売の土地で「世間よし一の経済貢献を成し、その行為は幕藩体制を維持しようとする為、政者により締め出され易い中で各藩にも歓迎されて、近江商人の商場が存続して来た根源であったとも記されています。

商売には、「三方よしの「売手よし」一買手よし一の行為は常識ですが、「世間よし一の考え方は根本的に「和の心」に通じるもので人と人との連帯感が希薄になりつつある現代社会においても、もう一度原点に立ち返り「和の心」をもってすべての事柄に対処して行けば争い事もなくなり平和で理想的な社会が創造されるのではないのでしょうか。

す。いかに参加していただく方々に印象を深め感動を与えるか・・・が見せ場でもあります。

また一面お金をかけないで精一杯上手に演出するか、その人の価値も読み取ることが出来ます。手作りの結婚式、人に感動を与えるすばらしい演出の結婚式に参加することが出来、幸せでした。結婚式の違いを改めて考えさせられました。

二つ目の旅はインドネシア、アジア農業国際フォーラムに参加して日本の胃袋はますます大きくなり、農業はより小さくなって来ています。日本の暮らしは、人間を始めペットまでもアジアの生産無くしては生きて行かない現状です。日本の胃袋、日本人が一年間に家計飲食費支出として払う額は65兆円、この額は1988年のインド国内総生産(GNP)約二倍、韓国の約2.7倍に相当するものです。たぐさんの食事代を支払っていてもその1/4ぐらいしか私達の胃の中には入っておらず後は残飯腐敗として捨てられているのが現状です。

インドネシアの東北部では、日本へ鶏肉を輸出するために朝三時半に中学生の子供達が鶏の首を切り、血はバケツに羽根は麻袋に内蔵は一つずつ分けてすべてむだのないように手際よく仕事をさばいて行きます。私がお世話になった日は三十羽で七時半までかかりました。八時頃に学校へ出掛けて行き、きれいに商品にされた鶏は母親が市場へ売りに行きます。お父さんは鳥の世話で一日

利は余沢(大きな恵みのおこぼれ)であり、私達の先輩近江商人の「三方よし」の考え方は現代にも脈々と生き続けているものであり、世界に誇れるものであると信じます。

2つの旅行

向井 久恵

私は昨年、大きな旅を二つ経験しました。

一つは、アメリカから七番目の娘が結婚しますので、是非参加して下さいとの招待状が送られて来た。

ホームステイでお世話頂いたご両親。二十年振り会いたい思いがつのるばかり。家族に交渉、すんなりとOKは出たものの、次は安く行けるチケットを探してアメリカ往復、本土三ヶ所乗り継ぎ無料九万七千円を買って出かけた。アメリカの結婚式って私達がテレビや映画に出てくる華やかな画像とは異なって以外や以外、一年前から自分達の住む家探しが始まり、家が見つかるまで私達の住む家のリフォームがスタート。家具・調理台・壁・カーペット・ドア、全て自分達が好む色柄を選び、リフォームして行きます。

教会の飾り付けは、この日のために自分達の家庭で育てた木や花を持ち込み、照明のランプはクリスマスに使用したイルミネーションランプで飾って行きます。花嫁や花婿は、Tシャツ一枚で教会の中で悪戦苦闘していま

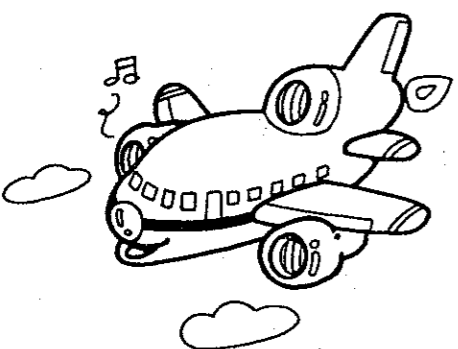
忙しく働いています。

グレイマさんの家はすべて手作業、水も山から流れる水を利用して居るため、大変貴重なものである。

そんな中で、一生懸命明日の生活を夢み頑張っている子供達がいることを肌で感じ、日本人の消費の在り方、物を大切に作る心、ムダにしない生活をこれから心に秘めて暮らして行かなくてははいけないと思いました。

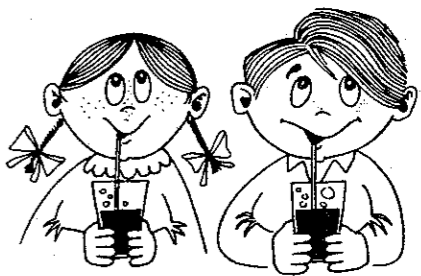
二つの旅を通じて、金を出せば何か出来るのではなくて、自分には何が出来るかが問われる旅であったと思われれます。

幸せな国に生まれ育ったことに感謝しています。



T君の事

井上 和子



十三年前の春三月、就職・進学にと胸膨らませている若者達の中の一人T君は、お母さんに付き添われ、我が社へ就職のための面接に来ました。未だあどけなさの残る幼顔、何を尋ねても返事も出来ない、緊張した顔が新鮮にさえ思えました。

はたして大人ばかりの職場の中で、彼に勤まるだろうか？ どのような仕事に向いているだろうかと主人と相談をし、また心配をしたものです。

このような思いをよそに、彼はどしゃぶりの雨の日も凍てつく雪の朝も、自転車を押しながら出勤して来ました。

周りの人達からもアイドルの様に可愛がられ、次第に責任のある仕事を与えられ、自信にあふれた青年に成長しました。倉庫では絶対に必要なリフトの免許、自動車

免許にと、時間は少しかかりましたが見事に取得しました。

T君が成人式を迎えた年、テレビで成人式の模様を見ていた時、玄関のチャイムが鳴ると、そこにピシッとスーツを着たT君がお母さんと立っていました。

そして『お蔭様で、成人式を迎えました。ありがとうございます。』と紅白のお饅頭を差し出してくれました。そのお饅頭の上にうれしい涙がこぼれ落ちたことを今でも忘れません。後からお祝いした事をとても恥ずかしく思いました。

退社時、『ご苦労さん、気を付けて帰りや。明日も忙しいから休んだらあかんで！』と毎日毎日言い続け、姿が見えなくなるまで見送りましたが、今では『さようなら』だけになりました。

勤続十年で優良従業員として近江八幡商工会議所より表彰を受けた時。又、お父さんが病気で他界されたおり立派に喪主としての挨拶をした時、成長したT君を間近にして又涙しました。

会社の仲間にも励まされ、教えられ、ときには息子達に食事に誘われ、私からはよく注意を受け、本当に色々なことがありました。

今年のある大雪の日、『T君。ひどい雪だけどチェーンを付けてる？スノータイヤは？』と心配で尋ねる私に、『4駆だから大丈夫です。』との返事が返って来ました。私はホッと安心。かたわら、暖かいものが込み上げて

きました。

バレンタインデーにはいつも私がチョコレートプレゼントしていますが、おばさんからでなく、可愛い女性からもらって欲しいものです。T君ならきっと素晴らしい出会いがあるはず。そして今度は是非とも素敵なお嫁さんを見せて欲しいものです。

私はT君のお母さんと二人でもう一度うれし涙を流せる日を楽しみにしている今日この頃です。

ワープロ入門

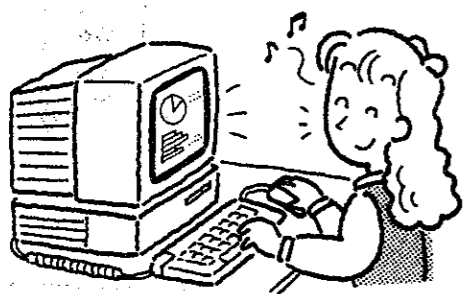
岡田 眞佐子

新聞でもテレビでも、インターネット・ホームページ・電子メールなど、毎日のように言われている今日この頃、私はワープロすら打ったことがありませんでした。

そんな時、商工会議所婦人会主催のワープロの講習会がある事を知り、参加しました。

二日間の参加で、年賀状を打って帰り、自分では使いこなせるようになったと思っていました。

早速、ワープロを購入し、家で使ってみると全然打てず子供に聞きながらやってみましたが、やはりダメでした。



そんなことが何回も続き、子供にサジを投げられ、自分で打たなくてはならない事態となり、今まで見たことのないマニュアル本を取り出して一進一退の状態が続きました。しかし、今では短時間で案内状や、町内の回覧板も打てるようになりました。

子供に見放されたお陰で、ワープロを何とかこなせるようになり、人に頼って教えてもらうより、時間は掛かっても自分だけの力でやり抜けば、結局身につく言う事が分かりました。

今後、新しい事を始める機会があった時には、自分自身の力を信じ頑張りたいと思います。

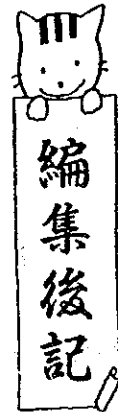
婦人会に入会して

新入会員



「あすなる」を拝読していて、その文面から胸を打つことがとても多く、また、なるほど、と考えさせられることが沢山あります。私は、主人と二人でこれまで、それこそ朝となく、夜となく働き、なんとか会社を育ててきました。けれど、誘われるままに商工会議所婦人会に入会させていただき、多くの異業種の方々とお知り合いになり、お話を聞くにつけ、様々な面で教えられることが多く、本当に、私の人生に巾がたようにも思われ、感謝している次第です。とりわけ、「あすなる」に綴られている文面からは、書く人々の人生の一端が伺え、とても感激を受けることが多々あります。

一人は自分独りでは生きられない」と申しますが、私自身まったくそのように思います。こうしてなんとか商売ができるのも多くの人々のお陰と心から感謝しております。私は今回婦人会に入会させていただいて、多くの人々と交わり、そしてその交わりを通じて、生きることの喜び、尊さ、を学んでいきたいと思っています。この「あすなる」がますます発展することを心から願っております。



木々の若葉が目にしみる季節となりました。さわやかな風とともに『あすなる第6号』

をお届けします。

原稿をお寄せいただいた皆様にはお忙しいのにも関わらずありがとうございました。

お仕事に家事にと毎日忙しく過ごされている中で、笑いあり、涙あり、いろいろな経験されていると思いますが、その中のひとつでも又、暮らしのちょっとしたアイデアでも結構です。どんどん原稿をお寄せ下さいますようお願い致します。

手作りでなかなか満足いただけないかも知れませんが、委員会一同頑張りますのでよろしく願います。

